

平成23年度  
大阪府学力・学習状況調査の結果概要

忠岡町教育委員会

# 平成23年度大阪府学力・学習状況調査 忠岡町結果概要公表について

## (1)調査の目的

- 府内の児童生徒の学力および学習状況の向上の観点から、大阪府・大阪府教育委員会・各市町村教育委員会が府内における児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各学校が、教育の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、その教育指導の改善に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが自らの学習の到達状況を正しく理解し、学力や生活に目標を持ち、その向上への意欲を高める。

## (2)調査の対象学年

- 小学校及び支援学校小学部6年生
- 中学校及び支援学校中学部3年生

## (3)調査内容

- 学力に関する調査
  - ・小学校：国語、算数
  - ・中学校：国語、数学、英語
- 学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査
  - ・児童生徒アンケート
  - ・学校アンケート

## (4)6月14日に調査を実施した大阪府の学校・児童生徒数

- 実施校数
  - ・小学校：631校
  - ・中学校：318校
- 実施児童生徒数
  - ・小学校：53,027人
  - ・中学校：47,871人

## (5)6月14日に調査を実施した忠岡町の学校・児童生徒数

- 実施校数
  - ・小学校：2校
  - ・中学校：1校
- 実施児童生徒数
  - ・小学校：191人
  - ・中学校：162人

## 公表に関する配慮事項について

大阪府教育委員会が定めた平成23年度大阪府学力・学習状況調査実施要領に基づき、次の点に配慮し公表する。

- 忠岡町教育委員会は、保護者や地域の住民に対し、町内における教育及び教育施策に関する説明責任を果たす観点から、調査結果を公表する。
- 本調査の目的及び調査結果が学力や学習状況、生活状況の特定の一部である。
- 学校ごとの児童生徒の学力の結果が明らかになる公表は行わない。
- 本町は、公立中学校が1校であるため、町教育委員会において公表することが、学校単位の公表となるため、中学校の結果は非公表とする。
- 本町の特徴的な課題と改善方策を公表する。

## 全体の概要について I（学力に関する調査より）

- 主として「知識」に関するA問題の正答率より、主として「活用」に関するB問題の正答率が下回っており、これまでの学力調査と同様、知識・技能を活用する力に依然として課題が見られます。
- A問題の結果から、多くの子どもたちは、漢字の読み書きや計算などの基礎的・基本的な知識・技能は身につけているものの、その言葉や式などが持つ意味について、理解を深めることが必要とわかりました。
- B問題の結果から、無解答率がこれまでの学力調査に比べると低くなっており、深く考える問題などに対して前向きに取り組む意識がはぐくまれつつあります。文や図、グラフなどさまざまな形態で表現された問題を読み、与えられた条件にそって書いたり、身近なことがらについてその理由を説明したりする力をつけることが必要です。

## 全体の概要についてⅡ（学習状況に関する調査より）

- 朝ご飯を毎日食べている割合は、小学校では約90%以上の子どもが食べていますが、中学校になると少し減ります。
- 学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたり勉強する時間は、小学校・中学校とも大阪府の割合とほぼ同じです。しかし、2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間は若干多くなっています。
- 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいる割合は、約70%の子どもが意識しながら読んでいますが、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている子どもの割合は、小学校において少なくなります。
- 読書が好きな子どもは、小学校においては大阪府の割合と比べて若干少ないですが、中学校ではほぼ同じ割合です。

## 忠岡町における学力・学習状況に関する施策

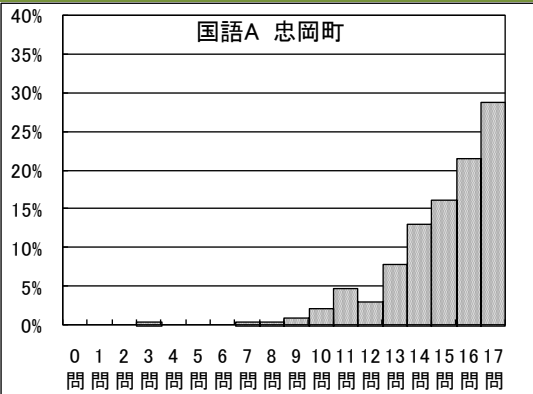
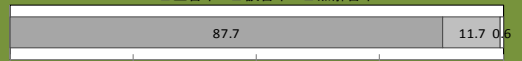
- 特色ある学校づくり研究指定校・・・小・中学校における教育内容の充実と指導方法の工夫改善を図っています。
- 学力向上サポーター・・・基礎・基本の定着を図り、「確かな学力」を育むためのきめ細やかな学習支援を行っています。
- 放課後学習支援員・・・児童・生徒の学習習慣の定着・学力及び学習意欲の向上を図っています。
- CRTⅡテスト・・・児童の基礎・基本における学習のつまづきの把握と効果的な指導につなげています。
- QUの実施・・・よりよい学級集団づくりに向けた課題を把握することにつなげています。
- 授業力向上支援・・・授業力向上に向けた授業観察、及び指導・助言を行っています。
- 授業力向上のための教員研修・・・教科・領域・校種の枠をこえた授業改善と校内研修を活性化につなげています。
- 学力向上担当者会・・・学力にかかわる情報共有と各校における学力向上を推進しています。
- 小・中学校生徒指導連携会議・・・小・中学校の9年間を見通した取組の共有と連携を推進しています。

# 学力に関する調査より(小学校)

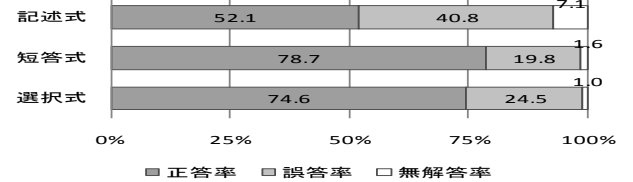
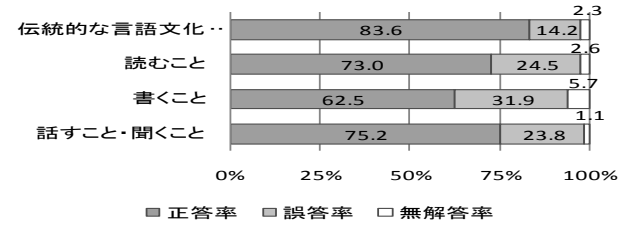
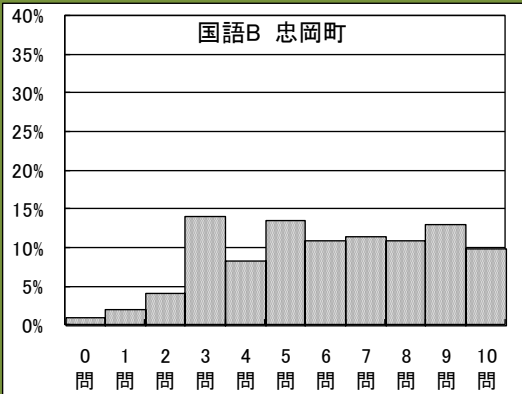
## 小学校 国語

文脈に合う漢字の読み書きや、適切な接続詞の選択、場面に応じた表現へ書き直す問題については、正答率は高く、概ね良好である。ポスターや会話文を読んで、案内状に書き換えたり、内容にふさわしい絵を選びその理由を書くことに課題が見られる。

A区分



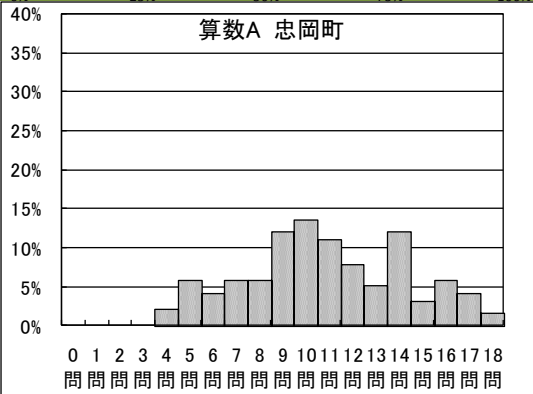
B区分



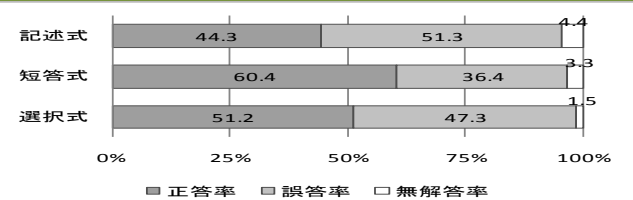
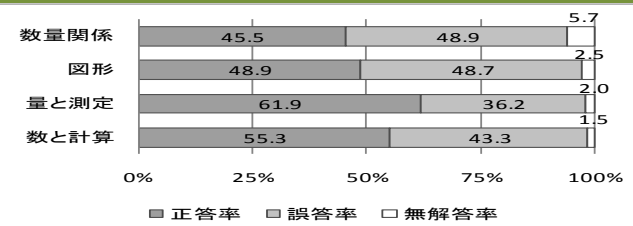
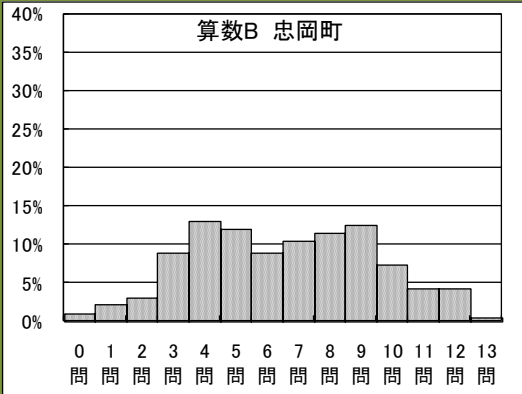
## 小学校 算数

計算問題は正答率が高く、概ね良好な結果である。図形の特徴の理解や、算数的な考え方をを用いて日常のことがらを説明することに課題が見られる。

A区分



B区分

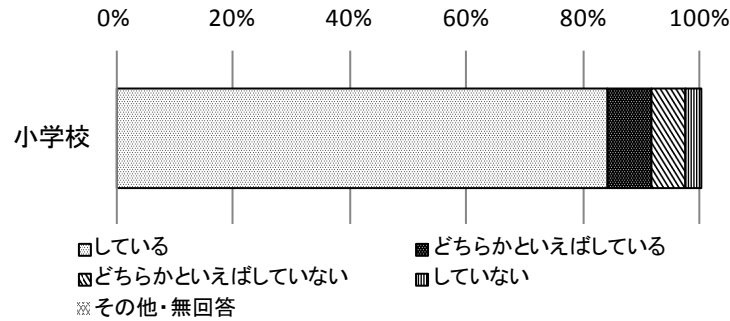


# 学習状況に関する調査より①(小学校)

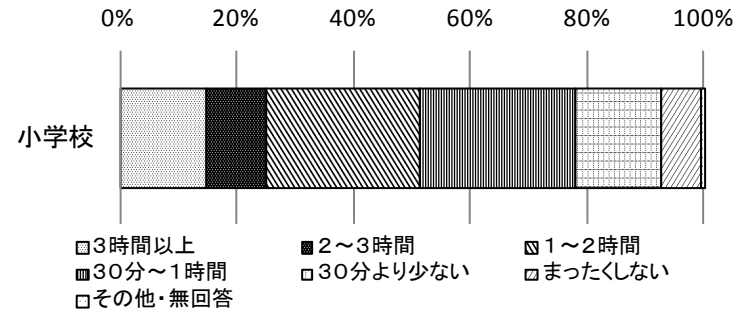
規則正しい生活をするために、朝ご飯をしっかり食べましょう。

学校の宿題、予習・復習、苦手なところの勉強など自分で考えて学習しましょう。

### 朝食を毎日食べている



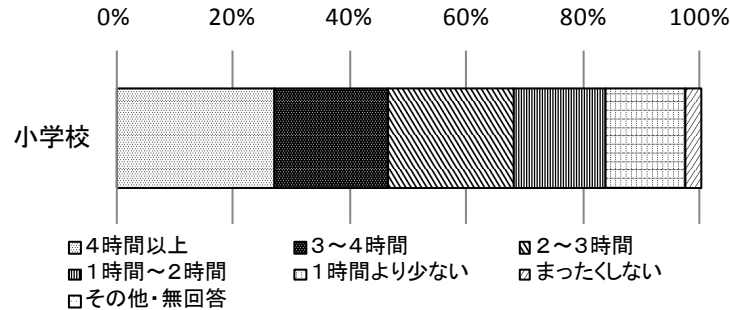
### ふだん1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか



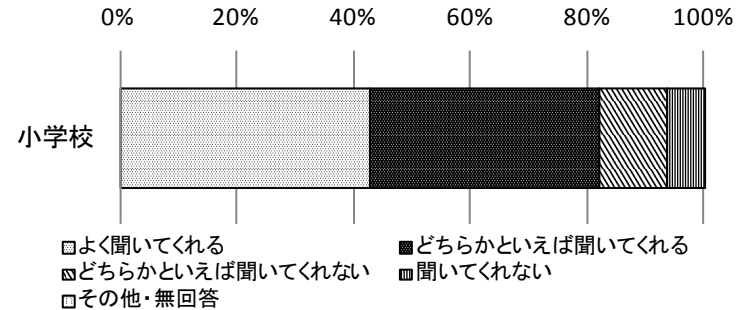
時間を決めて見るようにしましょう。

家の人が学校の話聞くことが子どもたちへの良い関わりとなります。

### ふだん1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり、聞いたりしますか



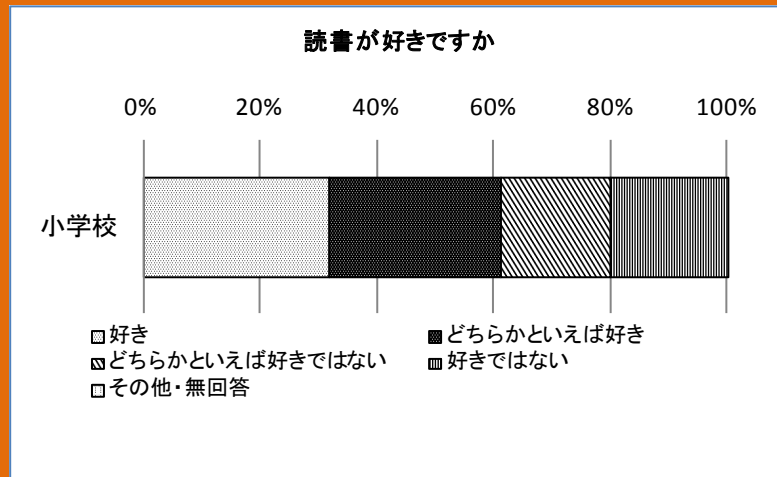
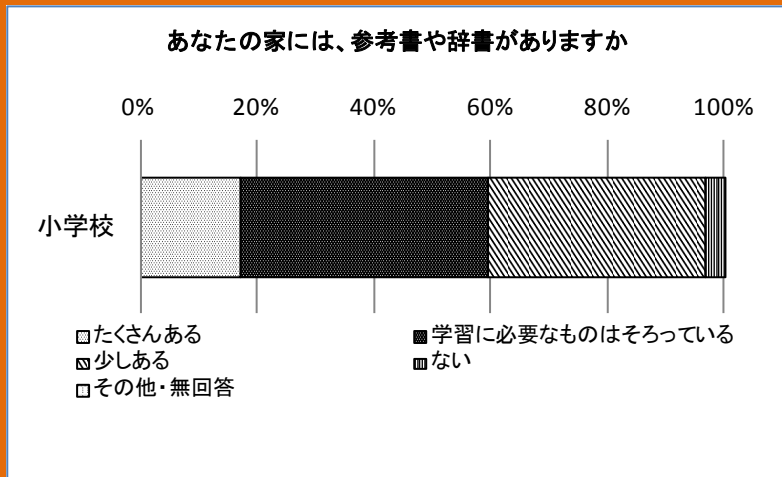
### あなたの家の人は、学校の様子を聞いてくれますか



## 学習状況に関する調査より②(小学校)

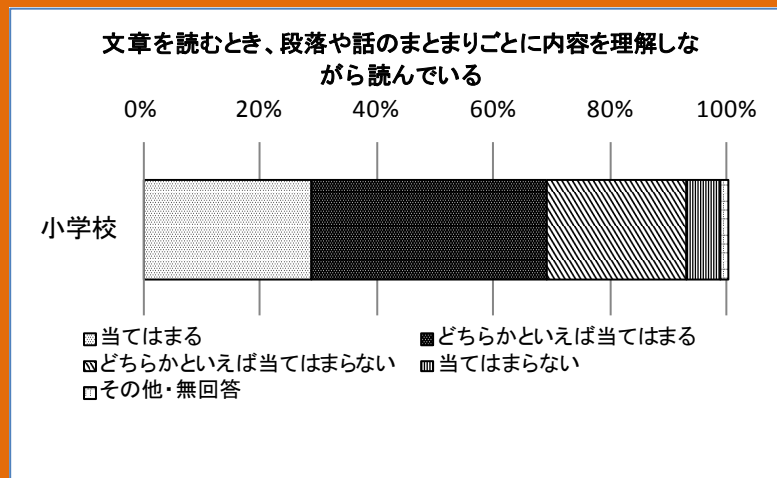
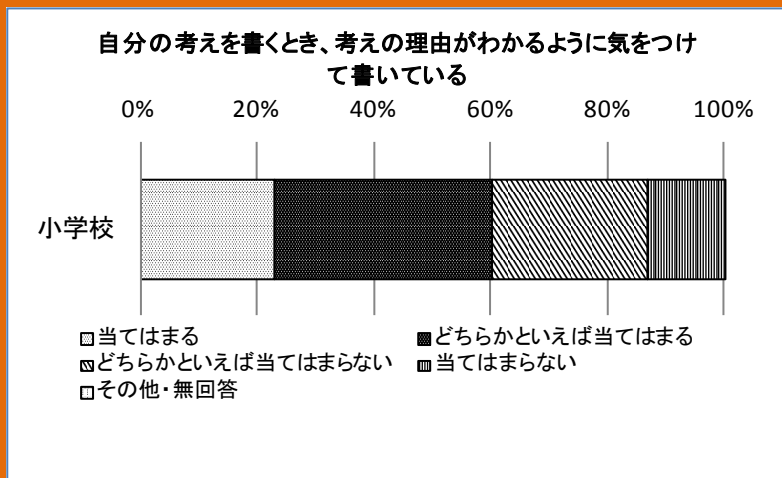
家庭での学習環境づくりが大切です。

読書好きな人が増えています。これからもどんどん読みましょう。



自分の考えを書くときは、理由などを考えながら、相手に伝わるように書くことが大切です。

何が書かれているのか、書き手が伝えたいことは何かを考えながら読むことが大切です。



# 忠岡町の特徴的な課題(小学校 国語)

## 【案内状】

### みどり公園 えん そう 子ども夏祭り たいこ演奏会・体験会

あおぼたいこクラブでは、子ども夏祭り、たいこ演奏会と体験会を行うことになりました。たいこの音を聞くと、元気になりますよ。いっしょに楽しんでみませんか。

#### ■ たいこ演奏会

7月16日(土) 午後5時から午後6時まで、たいこ演奏会を行います。席は十分用意していますので、みんな来てください。

#### ■ たいこ体験会



あおぼたいこクラブ  
●お問い合わせ●  
06-XXXX-XXXX



木下さんは、あおぼたいこクラブに所属しています。クラブでは、子ども夏祭り、たいこの演奏会と体験会をするので、**【案内状】**を作りました。**【案内状】**のたいこ演奏会の説明を  
しているところにならって、  
にあてはまる内容を、二つの文で書きましよう。

## 考えられる課題

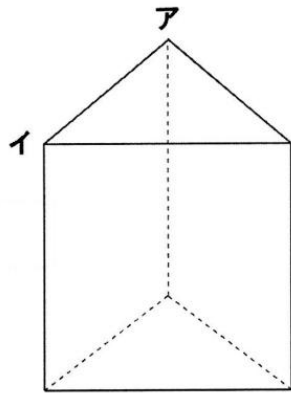
- 複数の資料から内容を  
読み取る力
- 目的に応じて情報を  
取り出す力
- 条件に合わせて文章を  
書く力

## 指導の方向性

- さまざまな題材を読む  
機会を設定する
- 条件に合わせて書く場面  
を設定する

## 忠岡町の特徴的な課題(小学校 算数)

- 6 下の図のように、底面が正三角形で、側面が正方形になっている立体があります。アイと長さが同じ辺の数は、アイもふくめて何本あるでしょう。



### 考えられる課題

- 三角柱の辺や面の特徴を理解し、同じ長さの辺の数を求める力

### 指導の方向性

- 言葉や式などが持つ意味について、理解を深める場面を設定する
- 見方・考え方を説明する場面を設定する

# 忠岡町の特徴的な課題(中学校 国語)

6

## 【第三中学校ホームページ～学校施設の紹介 その1～】

新入生の皆さん、第三中学校のホームページへようこそ。さあ、いっしょに第三中学校の施設めぐりをはじめましょう。

正門を入ってすぐ右手にあるのが第一校舎です。1階には、職員室や保健室などがあります。3階には、皆さんの各教室があります。窓からは、遠くの景色もよく見えますよ。

廊下を折れ曲がって第二校舎に入ってみましょう。ここは、特別教室棟です。音楽室、コンピュータ室、図書室があります。コンピュータ室には、インターネットができるパソコンとプリントの印刷ができるプリンタが設置されています。昼休みと放課後に開放されているので、調べものをするときに利用しましょう。図書室は本を借りられるほか、自習スペースがあります。昼休みや休み時間、放課後に開放されているので、わからないことは遠慮なく司書の方に相談しましょう。

階段を下りてみましょう。2階には、第一・第二理科室、多目的室があります。多目的室は放課後に開放され、生徒が自由に活動できます。1階には、調理室、技術室、美術室があり、それぞれ調理実習や美術の時間に利用することになります。

次のページでは、体育館やプール、グラウンドの紹介をします。

[学校施設の紹介その2](#) [トップへ戻る](#)

北川さんの学校では、自分の学校にある施設の紹介文を書いて、新入生向けのホームページにのせることになりました。次は、北川さんが書いた施設の紹介文です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

## 考えられる課題

### ●文脈の流れを理解する力

## 指導の方向性

- 単語や表現の意味の違いを理解できるようにする
- 日常生活で出会うさまざまな文章を取り上げて、目的をもって読んだり書いたりする

一 この紹介文をもとにして、昼休みに生徒が自由に使うことができる教室の組み合わせとして正しいものを次の1から4の中から一つ選びなさい。

- 1 多目的室とコンピュータ室
- 2 多目的室と図書室
- 3 コンピュータ室と図書室
- 4 音楽室と図書室

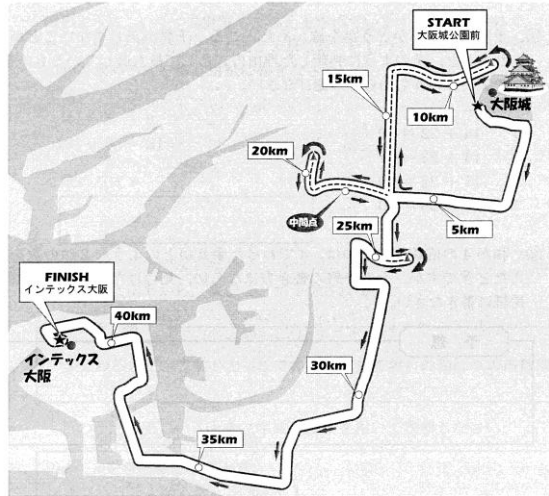
二 北川さんは次の一文を紹介文に書き加えることにしました。この一文は、どの文の前に入れるのが最も適切ですか。文を入れた直後の文のはじめの四字を抜き出しなさい。ただし、句読点は字數にふくめず。

【書き加える一文】

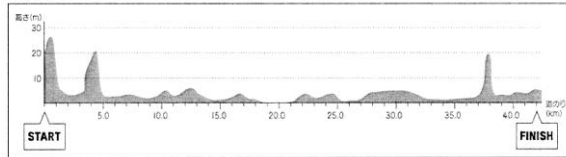
さあ、階段を上がつてみましょう。

# 忠岡町の特徴的な課題(中学校 数学)

- 3 次の2つの資料は、大阪マラソン 2011 のコースとその高低を表したものです。このマラソンのコースは、大阪城をスタートして矢印に沿って走り、インテックス大阪でゴールするまでの42.195kmです。このとき、次の各問いに答えなさい。



コース高低図



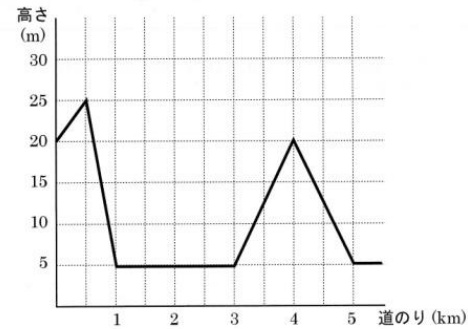
(注) コースの高低図は走る道の高さを表しています。

## 考えられる課題

- 読解力・説明力

- (3) 太郎さんは、下図のように、スタートから5km地点の間をおおむねの高低図で表してみました。次の①～③の条件をもとに速さについて考えるとき、速さが最も遅くなるのは、何kmと何kmの間ですか。また、そう考えた理由も書きなさい。

- ① 走る速さは、平地では一定になるものとします。
- ② 走る速さは、上り坂のときに遅くなり、下り坂では速くなります。
- ③ その速さの変化は、高低の変化の割合が大きいほど大きくなります。



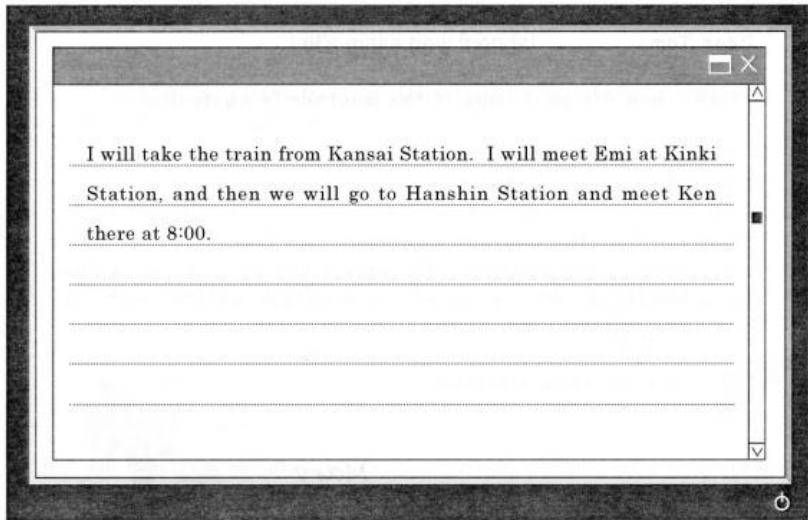
中数B-6

## 指導の方向性

- 説明する機会を増やすことにより、他人の意見を聞き、整理し、自分の意見に反映させるようにする

## 忠岡町の特徴的な課題(中学校 英語)

6 留学生のメアリー (Mary) は、明日、絵美 (Emi) と健 (Ken) とハイキングに行きます。メアリーは、電車の時刻表 (Train Schedule) を見ながら待ち合わせの時間などを確認するために、二人へメールを送りました。(1) と (2) の下線部に入る最も適している英語を、次のメールや時刻表から1語ずつ解答欄に書きなさい。



(注) take 乗る train 電車

Train Schedule			
	Kansai Station	Kinki Station	Hanshin Station
Red Train	7:30	7:40	7:55
Green Train	7:40	—	7:50
Blue Train	7:50	8:00	8:15

(1) Where will Mary meet Emi?  
She will meet Emi at \_\_\_\_\_ Station.

(2) Which train will Mary take?  
She will take the \_\_\_\_\_ Train.

### 考えられる課題

- 複数の情報を組み合わせて答えを導く力
- 英語の質問に英語で答える力

### 指導の方向性

- 複数の情報を組み合わせた教材で授業を行う。  
(例: グラフ・表などの活用、  
読解と記述を組み合わせた教材や問題)
- 英問英答で考えさせたり答えさせる場面を増やす。